

第2ステップ6分野の外部評価委員会を設置します

第1ステップの到達点と進捗管理委員会の評価をふまえ、第2ステップでは6分野70項目の課題に整理を行い、進捗管理を行なっていきます。こうした取り組み状況を監視し、妥当性を評価する外部専門家や有識者を主体に構成する「品質保証評価委員会」を新たに設置することとしました。

この委員会は、以下の5つの機能を持ち、2年間の再構築計画の進捗だけでなく、その後の日本生協連の品質保証体系の継続的改善も課題としています。

- ①品質保証体系再構築課題の取り組み状況を確認すること
- ②QMS(品質マネジメントシステム)やFSMS(食品安全マネジメントシステム)に反映させた諸施策の有効性・妥当性を評価すること
- ③リスクコミュニケーション等もふくめた品質保証活動全般に対する外部評価を行なうこと
- ④日本生協連も品質保証体系の継続的な改善にむけた提言
- ⑤新たな問題や課題への対応の妥当性についての検証

年4回の開催で、2009年10月から委員会を開始しました。

◇品質保証評価委員会(五十音順 敬称略)

石川 純子 (財団法人消費者関連専門家会議事務局長)

太田 憲治 (コープネット事業連合品質保証本部長代理・統括部長)

川島 孝夫 (東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科教授)

戸部 依子 ((社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会 食生活特別委員会委員長)

中條 武志 (中央大学理工学部経営システム工学科教授)

森口 文雄 (コープこうべ 執行役員 総合品質保証室統括部長)